



新時代の県づくりへ

3大プロジェクトに着手
— 平成元年度富山県予算

TOYAMA PREFECTURAL REPORT

県広報

とやま

1989
No.243

4



アメリカで ランドアートに挑戦

ひとアズ とやま

城端町在住 彫刻家・岩城信嘉さん

「私の仕事は、自由と平和と平等を表現すること。ランドアートの現場と一緒に見れば、作者も観客も対等の立場に立ってしまう。」と熱っぽく語る岩城さん。その表情には自信が満ちあふれています。アメリカでも、すばらしい芸術を見せてくれることでしょう。

「ランドアートに興味を持ったのは、『海と陸』、『光と影』のように刻々と変化するもの、すなわち絶対とらえることのできない『あいまいさ』を表現できると思ったから」と語るのは、城端町在住の彫刻家・岩城信嘉さん。
ランドアートとは、大地や海などの自然を舞台にした芸術。「千里浜ではうまくいきました。今度は、S C O Tの鈴木忠志さんの仲介によって、アメリカのサンジエゴ海岸で挑戦します。」岩城さんの試みは、砂浜に立てた十トンの石柱が潮の満干によって倒れるのを写真などで記録するもの。
岩城さんは、ジュネーブ国際コンペでコンソレーションプライズを受賞したのを始め、彫刻で数々の賞を受けています。また最近では、富山市城南公園のモニュメントを製作。活躍の場はどんどん広がっています。
「私の仕事は、自由と平和と平等を表現すること。ランドアートの現場と一緒に見れば、作者も観客も対等の立場に立ってしまう。」と熱っぽく語る岩城さん。その表情には自信が満ちあふれています。アメリカでも、すばらしい芸術を見せてくれることでしょう。



世界の人達に学ぶ

エッセイ

富山医科薬科大学教授 難波恒雄

富山に来て九十九年、雪国のイメージにびったりとした年は二、三回ほどしかなかった。地球の温暖化は本当に進んでいるのであろうか。今年のような無雪の富山は、生活はし易いものの何か失ったような感じもなくなはない。人間の思考は誠に勝手なものである。雪がなければいけない物足りない淋しさを感じ、降り過ぎると白い魔物扱いをしよう。仲々もって平常心でおれない弱さがある。

最近国際化が叫ばれ、ここ富山の地にも随分と多くの国から人々がやってきて生活している。十九年前には考えられなかった現象である。私の勤務している富山医科薬科大学にも五十名近くの人が諸国から来ている。特に私の研究室である和漢薬研究所資源開発部門では中国十二名、ネパール三名、台湾二名、エジプト一名、ブラジル一名、二月末現在で総勢十九名。日本人十六名より多数が研究を続けている。富山へ来る前から世界各国へ薬物調査にでかけていた関係上、各国に多くの友人がおり、今迄でも一、二名の留学生は引き受けていたが、五年程前からその数が急激に増えてきた。調査をさせていただいた御礼の意味で、その国の学生諸君の教育、研究を引き受けたのだが、そろそろ経済的に限界を感じている。

風俗、習慣の異なる人達が、狭い研究室でひしめき合って実験しているの、時にはもめ事もあるらしいが、一般的に非常にまじめで熱心である。二名の頃は、下宿の世話や机、布団などの提供をやっていたが、今では留学生同志が夫々相互援助でうまく生活している。

私の研究室に来ている留学生、研究者は、来日前にほとんど私自身その国にでかけて面接をするよう心掛けていた。そこで人柄を見極め、日本での生活上のことを話し合う。また来日して何か事が起こったときには、日本の習慣を押しつけるのではなく、相手国の習慣を充分考慮して、面子の立つよう事を解決することが必要である。彼らに教えることも多いが、また学ぶことも多い。仕事の面では日本人と全く差別なくほとんど雑用もしてもらっているが、何しろ宗教が仏教、ヒンズー教、回教、キリスト教と世界の四大宗教が集まっているから、コンパの時は大変である。豚肉、牛肉、魚と食べ物を選択をしなければならぬ。

何はともあれ、国際社会の一員になるためには、多くの国々の風俗、習慣をよく学ぶことが必要である。一人よがり禁物である。多くの国の留学生、研究者達が「富山へ来てよかった。よく学べて楽しかった」と帰国してからも懐しく思い出していただけるよう友情を深めたいものである。

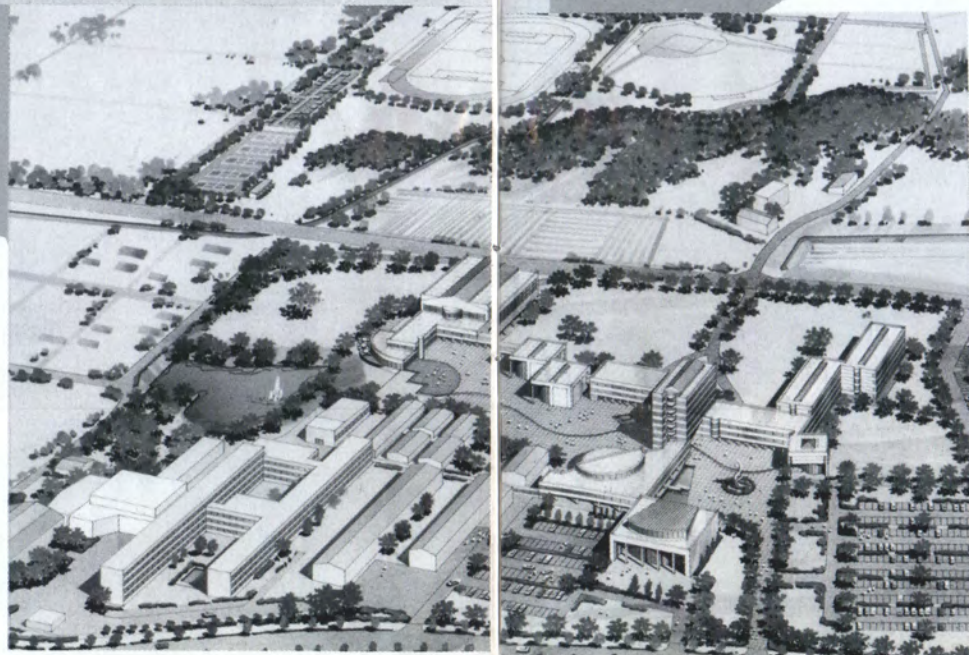
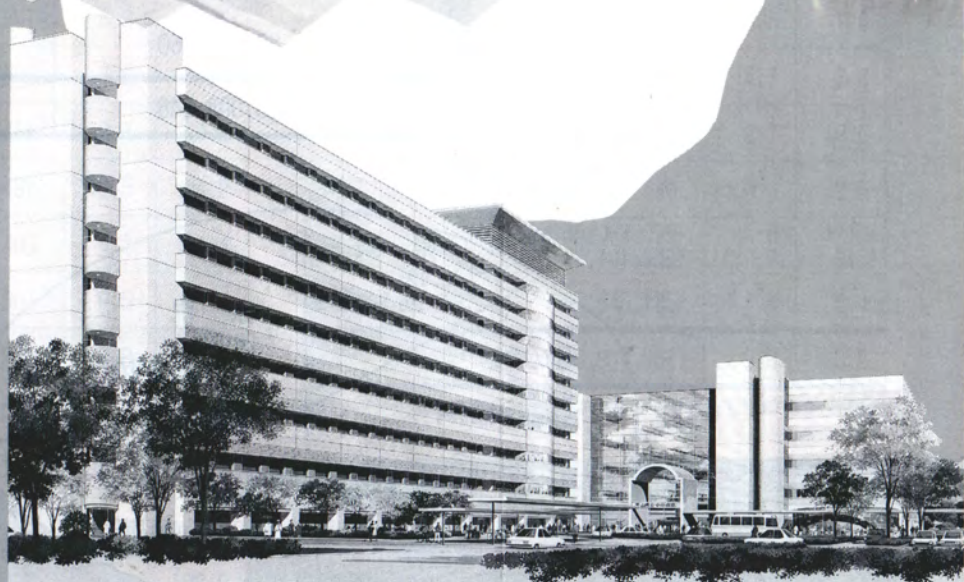
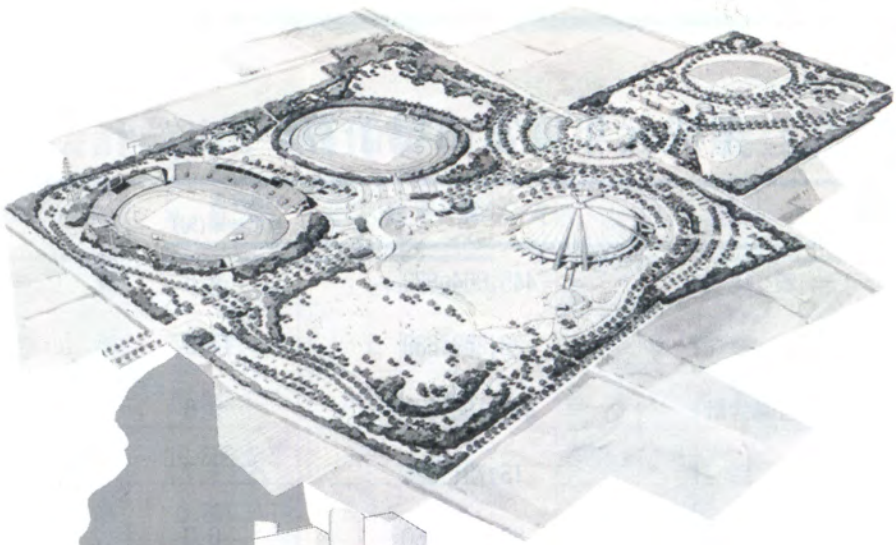


新時代の県づくりへ 三大プロジェクトに着手

平成元年度の富山県予算一般会計は、四、四五八億四九三万円。前年度当初に比べて九・八パーセントの伸びで、県民が夢と希望をもてる積極予算になっています。

今年度は、主要プロジェクトである富山県立大学、県立中央病院、総合運動公園の建設に本格的に着手するほか、新川文化ホールの設置構想、がん対策にも取り組みます。

また、二十一世紀への基礎づくりとして、次期県民総合計画、海ビジョン、水ビジョン、全県域下水化構想など各種の計画を策定します。そして、日本一の「健康・スポーツ県」、「花と緑の県」、「科学・文化県」の三大目標の実現をめざしていきます。



一般会計歳出予算目的別

(単位 千円)

区 分	予 算 額	対前年 度当初 伸率%	構成比 %
議 会 費	1,072,452	3.8	0.2
総 務 費	24,017,456	53.2	5.4
民 生 費	19,042,646	5.2	4.3
衛 生 費	19,388,519	10.2	4.4
労 働 費	3,261,351	6.0	0.7
農 林 水 産 業 費	64,729,689	7.6	14.5
商 工 費	19,032,415	3.4	4.3
土 木 費	107,873,497	10.5	24.2
警 察 費	19,548,480	4.1	4.4
教 育 費	105,527,301	6.5	23.7
災 害 復 旧 費	3,991,248	17.9	0.9
公 債 費	50,706,098	4.5	11.4
諸 支 出 金	7,413,780	62.1	1.6
予 備 費	200,000	0.0	0.0
合 計	445,804,932	9.8	100.0

一般会計歳入予算

(単位 千円)

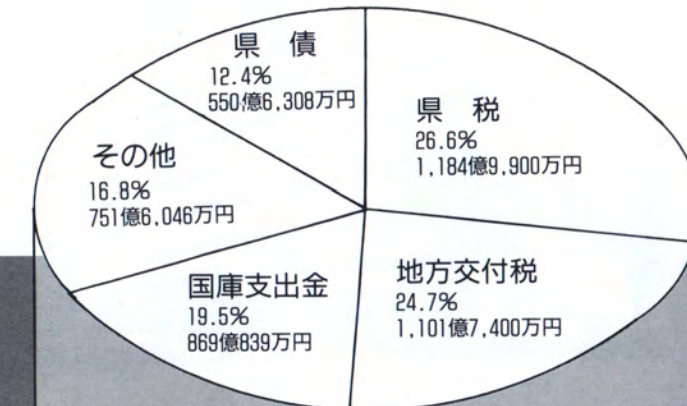
区 分	予 算 額	対前年 度当初 伸率%	構成比 %
県 税	118,499,000	3.6	26.6
地 方 譲 与 税	6,921,000	140.4	1.6
地 方 交 付 税	110,174,000	18.6	24.7
交通安全対策特別交付金	553,000	1.8	0.1
分担金及び負担金	7,376,185	3.8	1.6
使用料及び手数料	11,807,656	4.7	2.6
国 庫 支 出 金	86,908,389	2.7	19.5
繰 入 金	10,957,439	△0.3	2.5
県 債	55,063,078 (42,441,000)	0.8 (△4.7)	12.4 (9.5)
諸 収 入 ・ そ の 他	37,545,185	1.4	8.4
歳 入 合 計	445,804,932	9.8	100.0

(注) ()書きは、特定資金公共事業債(いわゆるNTT債)を除いた場合

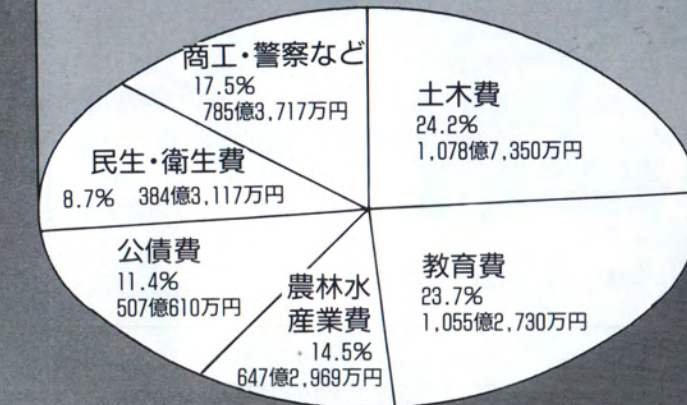
平成元年度富山県予算

(単位 千円)

区 分	予 算 額	対前年 度当初 伸率(%)
一 般 会 計	445,804,932	9.8
特 別 会 計	26,353,639	11.0
計(普通会計)	472,158,571	9.8
収 益 会 計	15,791,525	△ 1.7
企 業 会 計	32,053,750	8.0
合 計	520,003,846	9.3



平成元年度一般会計歳入・歳出予算額
4,458億493万円



(注) 特定資金公共事業債(いわゆるNTT債)を除いた場合、県債は9.5%、424億4,100万円

1. 健康づくり

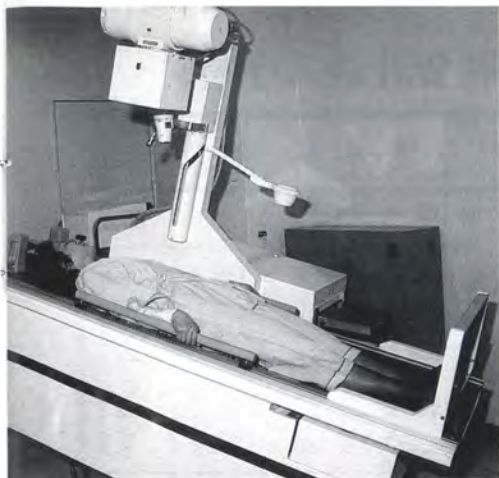
三二八億二百万円

心の健康づくり

心身ともに、すこやかでやすらぎのある生活を送るためには、身体の健康づくりとともに、心の健康づくりも大切です。心の健康づくりの習慣を身につけるため、各保健所で「心の健康学教室」を開きます。また、県精神衛生センターでは、より専門的な知識や技術を修得するために「メンタルヘルズ講座」を開催し、心の健康教育を進めます。

県民総ぐるみでがん対策

胃がん死亡率全国三位（昭和六十二年人口動態統計）の汚名を返上するため、がん対策推進本部を設置し、県民総ぐるみでがん対策に取り組みます。早期発見、早期治療を主眼として、がん検診の受診率の向上に努めます。また、食生活改善推進員やヘルスボランティアなど二千



人を含めがん対策推進員に委嘱し、がん予防の普及啓発をします。県立中央病院には、がん研究情報科を新設し、最新鋭のがん検診機器を導入。衛生研究所では、がん研究部を設けて疫学調査を進めます。

二十一世紀の病院に

県立中央病院

「日本一の健康県づくり」の中核となる県立中央病院の改築は、今年度第一期工事（病棟部門）に着手します。病棟は、地下一階、地上九階建てで、屋上にはヘリポートも作られます。県内初のターミナルケア専用病棟も設け、高度医療の中心として「県民に信頼される二十一世紀の病院」をめざします。第二期工事（診療棟）は平成四年度に着手し、完成は六年度の予定です。

東洋医学の推進

和漢医薬の基地づくりの一環として、和漢薬からはり・きゅうまで、幅広い東洋医学の臨床研究をするため、東洋医学センター（仮称）設置に向けての基本構想を検討します。また、東洋医学セミナーを開催するほか、日和漢薬シンポジウム、東洋医学展に助成するなど、東洋医学の推進を図ります。

二〇〇〇年国体に向けて

平成十二年の二〇〇〇年国体の本県開催に向けて、二〇〇〇年国体開催準備室」を設け、具体的準備を進めます。ジュニアの競技力を向上させるため、チーム、選手を選抜しての合宿、遠征試合、県外優秀チームを招待しての合同練習などを行います。また、メイン会場になる総



陶芸教室の開催など実践活動を重点的に進めます。

ボランティア基盤を強化

県や市町のボランティアセンターに常勤のボランティアコーディネーターを置き、情報の収集・提供、啓発、相談などを充実させます。また、ボランティア活動を効率的に進めるために、県、市町、関係機関の情報機器を整備し、情報ネットワークを形成します。さらに情報誌や幼児向け社会福祉絵本などの発行、ボランティア大会の開催（十月）により、活動の輪を拡げます。

- 地域総合福祉活動グループへの助成
- 県立流石老人ホームの全面改築（平成二年度完成予定）
- 特別養護老人ホーム二施設の開設
- デイ・サービスセンター三カ所の新設
- 身体障害者通所授産施設の建設（高志授産ホームに併設）助成
- 盲学校、高志養護学校、ふるさと養護学校の校舎の増築
- 富山児童相談所に「子ども・家庭一〇〇番」の設置
- 「国際児童年」制定十周年記念事業（子どもアートフェスティバル、児童国際交流キャンプなど）
- 延長保育・夜間保育の充実

3. 生涯学習の推進

九五七億五千万円

二年四月学生受け入れ

県立大学

富山県立大学は、小杉町黒河に現在建設中。工学部（機械システム工学科と電子情報工学科の二学科）と、県立技術短期大学を再編した短期

4. 文化の県づくり

二八億八三百万円

信仰と自然に学ぶ

立山博物館

「聖なる山」として仰がれ、親しまれてきた「立山」。この自然、歴史、文化を総合的に調査・

立山博物館（農業技術学科と環境工学科）とからなり。今年度は、本部棟、図書館などの建設、図書、設備の整備を進め、教育課程の編成や広報活動も行います。創造性と文化性豊かなインテリジェントキャンパスをめざし、平成二年度の学生受け入れを予定しています。

- 富山県民生涯学習カレッジの充実
- 高等学校の第二体育館の建設、校舎などの改修
- 外国人英語指導員の増員（三十四名から四十三名へ）
- 私立高校や私立幼稚園への経常費助成の増額
- 高岡法科大学、富山国際大学（仮称）の建設助成
- 総合教育センターの実施設設計

2. 社会福祉の充実

二七八億九三百万円

在宅介護を応援

家庭でねたきりの高齢者を介護をしている家族の負担は大変なものです。そこで、市町村と共同で福祉金制度を創設し、対象の家庭に年六万円を支給します。特別養護老人ホームでは、在宅高齢者に入浴、給食サービスをする「デイ・サービス」に加えて、痴呆性老人などを夜間預かる「ナイト・ケア」を行います。また、歯科治療を受けにくい方のために、訪問治療をモデル的に実施します。

高齢者の生きがいと健康づくり

富山県いきいき長寿財団

高齢化のスピードは、今後ますます早くなり、若い世代を含めた社会全体の意識改革やシステムづくりが急がれます。このため、関係団体や民間企業の協力を得て、富山県いきいき長寿財団（仮称）を設立し、高齢者の生きがいと健康づくりを進めます。ここでは、高齢者スポーツ大会などイベントの開催、情報提供誌の発行、シルバーサービスの調査などを行ないます。さらに、三市町村をモデルに、フォーラム、

研究し、展示・紹介するため、立山町芦峯寺に「立山博物館」を建設します。現在ある「立山風土記の丘資料館」に加えて、「展示館」（資料展示や施設全体のガイダンスをする）、「遙望館」（映像や音響で立山を表現する）を新設。平成三年の開催をめざして秋には着工し、展示、映像ソフトの制作や、資料の収集をします。三年以降は、かもしか園など野外施設を整備し、だれもが楽しめるレクリエーションエリアとなります。

- 富山国際青年演劇祭など芸術文化活動への助成
- 新川文化ホール（仮称）建設のための調査
- 利賀合掌文化財団（仮称）の設立

5. 若者と婦人の力を社会に

一三億二百万円

女性の力をもつと社会に

女性人材情報バンク

県内在住や県にゆかりのある女性に関する情報を収集し、「富山県女性人材情報バンク（仮称）」を設置します。審議会など女性の公職参加を進め、女性の能力を大いに活用しようというものが、対象は、学識経験者、専門的な資格・技能の所有者、団体・グループのリーダー、県のイメージアップに貢献できる方など。各人のデータをコンピュータに登録し、行政機関や民間からの人材推薦依頼に応じます。これにより、女性講師や執筆者探しも容易になります。

- 青年の翼・婦人の翼のアメリカ等への派遣

1. 快適な暮らしの実現

二五七億三百万円

すこやか家庭教育相談

乳幼児期の子供を持つ親の子育てに関する不安や悩みを解消するため、家庭教育相談を始めます。県内四会場にて専門家による巡回相談や子育てセミナーを開催し、また、テレビ番組の放送（毎週土曜日午前七時四十五分からの「小さな手・大きな目」やビデオを作成して子育てについて気軽に学習できるようにします）。

きれいで明るい公共トイレ

公共トイレは、住みよいまちづくりや観光地のイメージアップに欠くことのできないものになってきました。

そこで、とかく汚いと思われるがちな公共トイレを「きれいで明るい」イメージにリフレッシュするため、自然公園内のトイレを改善します。また、市町村管理のトイレの水洗化、改築などに助成します。利用者の関心を高めるために、グッドトイレコンテストや講演会を開催し、快適な公共トイレづくりを進めます。

県民緑花カレッジ

（財）花と緑の銀行では、四月から、緑花センター（婦中町）とエレガガーデン（砺波市）で、県民緑花カレッジを開講します。初心者を対象として緑花技術指導をする一般コース、地域の緑花リーダーを養成する指導者養成コース、県内を巡回して緑花知識や技術を普及する特別コースがあります。



植物を学び、楽しむ

植物公園

「日本一の花と緑の県づくり」のシンボルとして、植物公園の整備に取りかかります。県内各地の優れた植生地や公園施設を活用して本園といくつかの分園を設け、全体として一つの公園にします。今年度は、緑花センターや林業試験場樹木園、頼成の森の整備を進め、分園整備構想も策定します。

- 花の名所の環境整備
- 全県域公園化構想の策定
- 防災行政無線の再整備
- 河川情報システムの実施設計

2. 魅力ある地域づくり

三九一億九百万円

富山駅北を新都市拠点に

富山駅北を、情報・文化の発信基地「ビジネス

スパーク」に作り変えるために新都市拠点整備事業、都市MIRAI計画を進めます。富岩運河の水環境を活かした運河公園（カナルパーク）と並木の続く大通りを中心に、コンベンションセンター、多目的スポーツ施設などを作り、水と緑の豊かな県の新しい都心にします。今年度は、複合交通センター（駅や駐車場、バスターミナルなどを含む複合的なビル）や人工地盤（立体的な道路、広場）の調査を行います。

雪を活かした公園づくり

スノーアート

今年の冬から、県庁前公園の噴水池に「雪の美しさを活かした環境造形（スノーアート）」を設け、同時にスノーアート展を実施して雪の自然の造形美を競います。県庁前公園を雪の「実験劇場」にし、都市の中に「現代の雪見の庭」を創り出そうとするもので、雪国富山のイメージアップにつなげます。

- 二十一世紀水ビジョンの策定
- 立山山麓（称名園地、あわすの平、有峰など）の一体的整備
- 県西部での家族旅行村の実施設計
- まちづくりモデル事業（継続十地区、新規四地区）の実施
- 雪に強い道路の整備
- 除雪情報システムの拡充
- 二十一世紀海ビジョンの策定
- 新妻地区マリナ調査
- 伏木ポートルネッサンス21調査一
- 海王丸の受け入れ準備

3. 生活基盤の充実

六三九億六百万円

4. 全県域下水道化構想

下水道事業は、市街地、農山漁村を含め、県内全域にわたって計画的、効率的に進めていく必要があります。そこで、公共下水道、農村下水道、合併処理浄化槽など地域に適した整備手法や必要整備量を調査して下水道整備の基本計画を作成します。今年度は県東部を、来年度は県西部を対象に調査し、下水道整備の長期指針とします。

- 小矢部川流域下水道の建設促進
- 農村下水道の整備
- 合併処理浄化槽の普及
- 立山の植生復元
- フナ林保全調査
- 高齢社会にそなえた住宅の研究開発

4. 総合交通体系の整備

五〇四億四百万円

大きく広がります 富山空港

七月から一便増えて一日六便となる富山空港では、空港ターミナルビルを増改築し、搭乗待合室、出発ロビーを広げます。県では、これに投資するほか、進入角指示灯や旋回灯の設置、駐車場の拡張など、空の玄関としての役割を充実させます。

- 北陸新幹線の建設促進
- 北陸自動車道のインターチェンジ周辺の緑化
- 東海北陸自動車道、能越自動車道の建設促進
- 伏木外港の建設
- 交通管制システムの拡充

5. 国際化時代への対応

六億二百万円

外国人留学生を支援

円高の影響などにより、外国人留学生、とりわけ私費留学生の生活には厳しいものがあります。そこで、留学生全員に国際理解研究費として月五千円の図書券を、さらに私費留学生には国際交流奨学金として月一万円を支給します。また、医療費も留学生にとつては大きな負担。県と市町村が国民健康保険料を助成し、留学生が安心して医療を受けられるようにします。

多彩な交流事業

富山県・遼寧省友好県省締結五周年

中国遼寧省との友好県省締結五周年を記念して、友好代表団の受入れ（五月）と派遣（十月）を行ない、七月には、高岡市立博物館で中国遼寧省文物展を開催します。また、瀋陽市での「富山県紹介コーナー」の設置、大極拳指導者の受入れ、柔道指導者の派遣などスポーツ、文化、技術交流も行い、一層の親善を深めます。

- 富山県国際交流推進大綱の策定
- アメリカ合衆国の州との友好提携の推進
- 第四十一回日米学生会議の招致
- カリフォルニア大学サンディエゴ校サマースクールの開催



1. 技術立県をめざして 一三億七八百万円

バイオにも取り組み

林業技術センター林業試験場

九月、立山町に林業試験場が改築オープンします。これを機に、新たにバイオテクノロジーを活用した試験研究にも取り組むなど機能を充実させます。また、樹木園も整備し、だれもが憩える場にします。

これに隣接して、林業普及センターが五月にオープンします。林業に携わる方だけでなく、一般の方々も図書室、視聴覚教材を利用して森林、林業について学ぶことができます。また、花木などの相談にも応じます。

- 科学技術プランの策定
- 富山県総合情報センター（通称・イノベーションセンター）への出資
- 工業技術センター富山研究所の移転改築

2. 農林水産業の振興 五一六億七四百万円

新しい農業へ

集落農場の育成と農地流動化の促進

農家ごとに機械を所有しては、米作に経費がかかるばかり。そこで昨年、集落で大型機械を共同所有する集落農場育成事業を県内四地区でモデル的に実施し、優れた成果を収めました。今年度はさらに六地区で実施します。

また、農地の貸し借りを促進し、中核農家の

規模拡大を進めるため、集落での話し合いにより将来の担い手に農地を貸した場合、貸し手に助成金を交付する「集落ぐるみ農地流動化促進事業」を実施します。

これらにより、低コスト、良質米の生産を進めます。

- 農業機械の共同購入等に対する助成
- バイオテクノロジーを応用した技術開発
- 富山食肉総合センターへの出資・建設助成
- 「つくり育てる漁業」の推進
- 林産物の特産化
- 特産王国づくりの推進

3. 工業の振興 三一六億五百万円

インターデザイン

セミナー'89富山

十月一日から富山県高岡文化ホールで日本初のICSID（国際インターストリアルデザイン団体協議会）インターデザインセミナーを開催します。第一線で活躍している世界各国のデザイナー四十名が二週間の合宿を行い、「水と暮らす」をメインテーマにデザイン開発をするものです。デザイナー交流会、成果発表会、シンポジウムなども行い、本県のデザイン力の向上、国際的デザインネットワークの形成をねらいます。

ふるさと創造企業を育成

地域中小企業開拓（フロンティア企業育成）融資資金
急激な技術革新、情報化の進展、消費者二一

5. 雇用の安定 三〇億四二百万円

Uターンを推進

県内企業の技術者不足にこたえるため、富山県人材確保対策本部を設け、県出身者のUターンを促進します。東京、名古屋、大阪の各事務所には「Uターン情報センター」を開設。新規学卒者だけでなく、中途転職者も対象に県内企業の求人情報の提供をします。特に、東京Uターン情報センターには相談員を一名置き、就職相談にも応じます。

- 富山職業能力開発カレッジの整備
- 全国ふるさと勤労者スポーツ大会の開催

4. 第三次産業の振興 一六億四二百万円

にぎわいのある商店街へ

人がくり返して集まり、にぎやかな商店街にするために、「商店街活性化イベント補助事業」を行います。営業時間を延長しての夜間イベントや、多くの人が参加できるイベントなど、商店街が共同して継続的に行なう場合に助成します。今年度は、富山市などでモデル的に実施し、商店街での「楽しみの時間・空間づくり」を進めます。

- 富山国際コンベンションセンターの支援
- 宇奈月国際会館の建設支援
- 富山県観光振興ビジョンの策定
- 国際見本市への参加
- 中国遼寧省との経済交流団の相互派遣、物産展の開催

施策の実施のために

九〇二億五二百万円

組織機構

- がん対策のため厚生部、県立中央病院の組織整備
- 二〇〇〇年国体準備室の新設
- 総合運動公園建設室の新設
- 職員定数 知事部局・警察職員はすえ置き
教職員は十三人増

イメージアップ

- 県内の地域づくり施策の紹介
- とやま大使の設置
- 関東地区でのテレビスポットの放映
- 「富山県コンパス計画」イベントシナリオの募集
- 博覧会の開催調査



よりよい医療のために 地域医療計画

人生八十年時代といわれる本格的な長寿社会を迎え、病気の種類や割合が変化し、医療需要も予防からリハビリ、ケアに至るまで多様化・高度化しています。

そこで、皆さんが等しく、より良い医療を受けることができるよう適切な地域医療体制を整備するため、地域医療計画を策定しました。



1 基本目標

計画では、次の5つを基本目標としています。

- ① 県民の身近にある医療
- ② すこやかな長寿社会をささえる医療
- ③ 保健・福祉と手をたずさえた医療
- ④ クオリティ・オブ・ライフ（より豊かなより質の高い人生）をめざした医療
- ⑤ 東洋医学を活かした医療

2 医療圏の設定

1 二次医療圏
一般的な病気などに対応するための区域として二次医療圏を設定。表1のように県内を新川、富山、高岡、砺波の四つに分けました。各区域で身近な医療や一般的な病気による入院などの医療需要が充足されるよう努めていきます。

2 三次医療圏
三次医療圏は、高度な特殊な技術や設備を使う医療に対応するためのもので、県全域とします。

なお、これらの医療圏は、病院、診療所等の自由な診療活動や県民の方々の受療を制限するものではありません。これまでどおりこの医療機関にてもかかることができます。

3 必要病床数

医療の地域間格差を解消し、医療機能の均衡ある整備を図るために医療圏ごとに必要病床数を設定しました。（表2）

① 現在病床数が必要病床数を上回っている医療圏（新川、富山）では、原則として公的病院は増床・新設ができません。

また、民間病院も知事の行う勧告の対象となります。

② 現在病床数が必要病床数に満たない医療圏（高岡、砺波）では、地域の実情に応じて計画的に整備していきます。

2 「特定医療分野の整備」

救急医療体制の整備、がんその他の成人病対策、痴呆性老人対策、老人医療体制の整備、ターミナルケアの推進、東洋医学の研究・推進等をすすめます。

3 「医療・保健従事者の養成・確保と資質向上」

医師、歯科医師及び薬剤師等の従事者の確保・充実と生涯教育の充実等による資質の向上に努めます。

5 計画の推進

地域医療計画は、平成十二年度を目標年次にそれぞれの施策を前期、中期、後期の三期に分け計画的に推進します。スタートの年である今年度は二次医療圏毎に医療推進対策協議会を設置するなど体制を整備し、計画の円滑な推進を図ります。

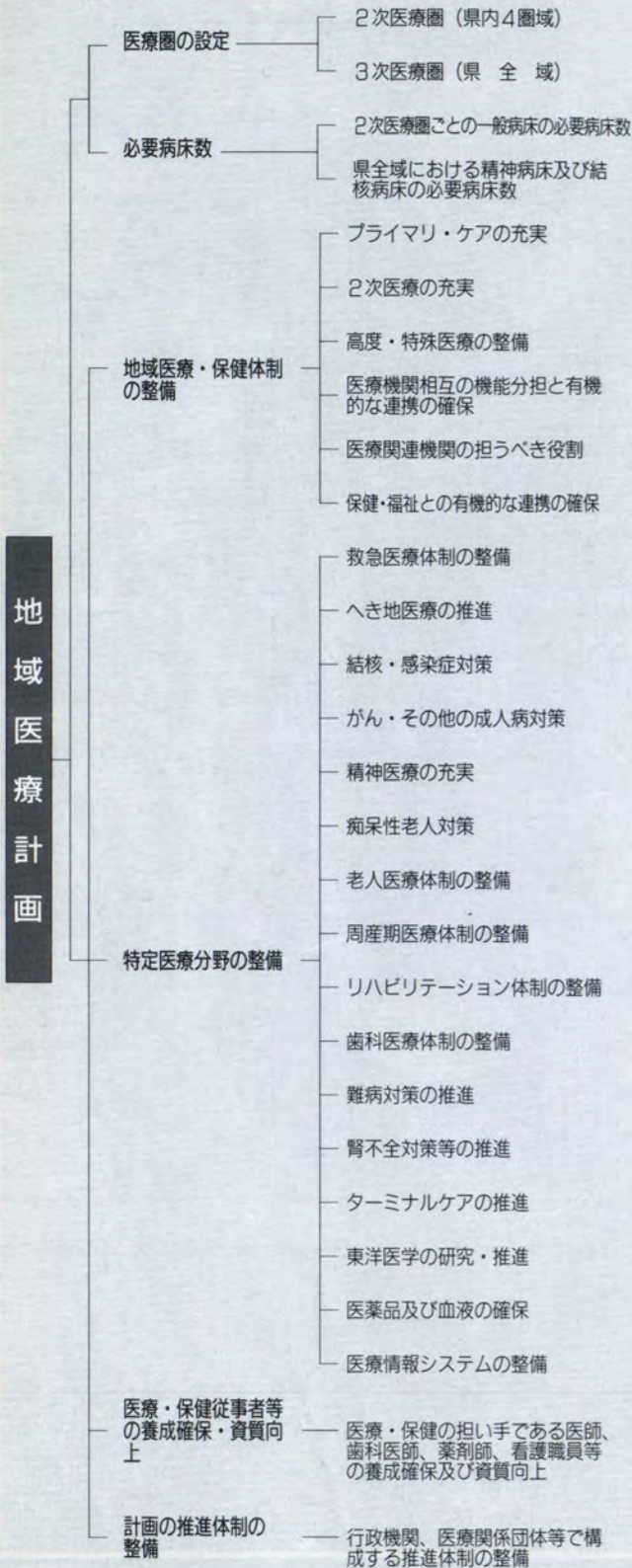
（表2） 必要病床数

病床種類	圏域名	現在病床数	必要病床数	差引病床数
一般病床	新川	1,875床	1,647床	+ 228床
	富山	7,763床	7,151床	+ 612床
	高岡	3,340床	3,693床	△ 353床
	砺波	1,112床	1,799床	△ 687床
	合計	14,090床	14,290床	△ 200床
精神病床	県全域	3,699床	3,631床	+ 68床
結核病床	県全域	575床	677床	△ 102床

（表1） 二次医療圏

圏域	圏域内市町村	圏域の面積	圏域の人口	圏域の中核となる都市
新川医療圏	魚津市、黒部市、宇奈月町、入善町、朝日町	928.85km ² (21.8%)	141,696人 (12.6%)	魚津市 黒部市
	富山市、滑川市、大沢野町、大山町、舟橋村、上市町、立山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村	1,848.54 (43.5%)	488,581 (43.6%)	富山市 滑川市
高岡医療圏	高岡市、新湊市、氷見市、小杉町、大門町、下村、大島町	489.50 (11.5%)	331,688 (29.6%)	高岡市 新湊市 氷見市
砺波医療圏	砺波市、小矢部市、城端町、平村、上平村、利賀村、庄川町、井波町、井口村、福野町、福岡町、福光町	985.43 (23.2%)	159,204 (14.2%)	砺波市 小矢部市
合計		4,252.32	1,121,169	

〈地域医療計画の体系〉





PIN-UP TOYAMA 花匂う

季節がめぐり 野山がざわめきだすとき 古城がひとときの華やかさを取り戻す

撮影／松浦義一



埋蔵物からあふれる古代にマン 収蔵室には宝物がいっぱい

..... 富山県埋蔵文化財センター

レポーター・柿沢佳代子さん(滑川市)

呉羽山の西の麓。県立図書館の隣の白い瀟洒な建物。それが富山県埋蔵文化財センターです。広々としたロビーの大きなガラスケースの中には、小杉町から出土した七世紀初めの須恵器の大瓶が展示してあり、入館者の目をひきます。

ロビー左手の展示室では、「とやまの顔」と題された企画展が開かれています。そこには縄文時代の土偶から現代までの動物の顔に関する考古学資料が展示してあり、各々の時代の人々の顔によせる思いや祈りの心にふれることができるような気がしました。この展示室は、平日五時まで(土曜日は十二時まで)自由に閲覧できます。時には古代のロマンを訪ねてみることをお勧めします。

古代の暮らしや文化が脈々と息づく収蔵室

展示室の奥は、木器収蔵室です。ここではたくさんの木の遺物が水につけられておられ、このあと、隣のPEG含浸処理室に移されて空気に触れても腐敗しないよう処理するそうです。整理室では、常時三十名程の調査員、作業員の方々が、水洗い、注記復元、実測、写真撮影、製図など、気の遠くなるような細かな作業をしておられます。次に案内されたのは、二階の収蔵室です。おびただしい数の遺物や写真、図面などが一定の温度、湿度に保たれたなかで、保存されています。調査員の方々のこれまでの苦勞の跡がびっしりとつまっており、その仕事の偉大さがうかがわれます。古代の人

々の暮らしや文化が脈々と息づいているように感じました。

公開講座は大人気。子どもたちも古代を体験

この埋蔵文化財センターの主な仕事は、地中などに埋れている遺物や、住居跡など埋蔵文化財の調査を行い、それらを整理し保存することです。最近では、ほ場整理や道路の建設の際に遺跡や、遺物が次々と発見され、関連の役所や、建設業者と協議しながら急いで発掘調査をしなければならぬケースが増えており、その仕事は大変な過密ぶりです。

その他、ここでは、埋蔵文化財についての、研修・相談・展示・普及活動を行っています。

例えば、毎年秋には、公開講座が開かれ、遠く関東、近畿からも、考古学に興味のある人々が集まり盛況とのこと。また、夏休みを利用して、「ふるさと考古学教室」が行われ、児童達は、「火おこし」や「土器文様復元」などを体験するという事です。「埋蔵文化財」日頃の生活とは馴染みのない言葉ですが、時間に追われ心にゆとりが少い生活を送っているだけに、一日ゆっくりと、古代の遺物にふれて、ロマンにひ

たるのも楽しいことかもしれません。県立の埋蔵文化財センターは、全国でも初めてだと聞いて、あらためて一見の価値があると感動した一日でした。



ふるさと
みてる記

上平村

富山から車で二時間余。まず最初に訪れたのが大きな合掌造りの越中五箇山ユースホステル。合掌造りの家に泊まれるだけでも貴重な体験なのにそれがユースホステルで安いとなれば魅力は大きい。



「遠いところわざわざ」と今ではほとんど見ることのできなくなった囲炉裏端で私たちを迎えてくれた羽馬誠一さん(65)。江戸時代から三百年以上も続く旧家の当主である羽馬さんは、過疎化の歯止めに宿泊施設を自宅をユースホス

世界で唯一、合掌造りのユースホステル

テルにしたのだという。

「今年で二十年、毎年だいたい二千五百人前後の人がここを訪れます。最近では都会からバイクでくる若者が多いです。」

太い柱にハりに格子戸、大きな囲炉裏。羽馬さんはこの囲炉裏端で五箇山の土地や風俗昔話を話して聞かせる。合掌造りならではの雰囲気と羽馬さんの人柄が若者たちを魅了して、夜には羽馬さんを囲んで話の輪が広がる。

「いったんここに来れば私はヘアレント、みんなの親です。ゆうことをきかんもんは遠慮なくしゃりますし、議論もします。ユースを通して心の教育をしていきたいと思ってるんです。遠くから来た旅人に感じさせるほのぼのとし

たあたたかさ。羽馬家はこれからも旅人の憩いの場となっていくだろう。

心温まる

音づくりをめざして

「幼い時から慣れ親しんだ地元の民謡をちゃんと自分でもできるようなりたくて、やっぱり五箇山の間人だから」と語る中谷真人さん(31)。卒業後、都会に就職したがUターン。帰郷後は上平村農協のガソリンスタンドに勤めるかたわら、民謡保存会で三味線に打ち込んでいる。

「民謡が好きだということもありますが、先人たちが培ってきた伝統を残していかなければという思いが強かったですね。中でも三味線の哀愁たまたよう音色に魅力を感じました。始めて五年になります。まだまだ満足のゆく音が出しきれなくて」。民謡保存会には中学生から六十

七、八歳の方まで約三十名の会員が所属。観光シーズンには月



に四、五回座敷に出るという。また、城端の



上平村の概要
人口 1029人(1月1日現在)
面積 9419km²

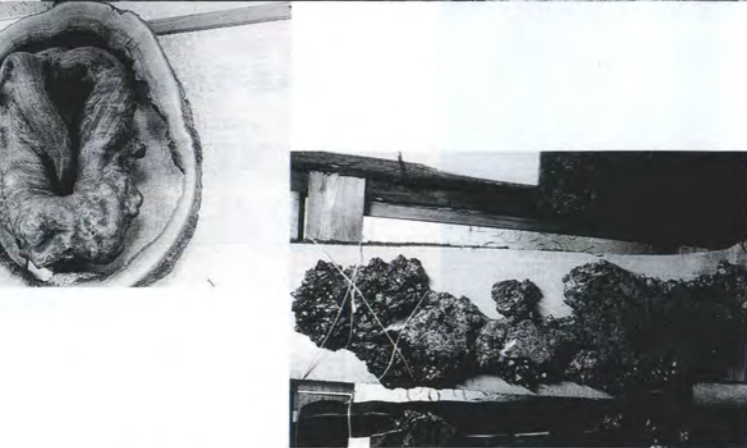
庄川の清流沿いに、歴史と詩情を漂わせた美しい自然の村。菅沼合掌集落や五箇山民俗館などから昔の生活様式がうかがえる。県境の飛越峽合掌ラインは、7つの色で塗られた町のかけ橋となっており、新緑に紅葉にドライバーの目を楽しませてくれる。



内は文字通り珍品堂。」「もともとは『ふるさと木芸研究所』という名でやっていたんですが、なんとなく役所の研究機関みたいな珍品堂に変えたんです。名古屋から来た若者のグループがつけてくれたんですよ。」と語ってくれるご主人、小坂谷光尚さん

木工の粋を集めて、珍品堂

むぎや祭や県外の物産展にも出演して民謡の里五箇山のPRに一役買っている。「初舞台はむぎや祭だったんですが、とても緊張しました。もうかなり慣れましたが、正座し続けるのは今でも苦しいですね。」中谷さんが一番うれしかったのは老人ホームを慰門した時。おばあさんの一人が中谷さんの三味線にひどく感激して泣いたことだという。洗練された音色ではなく、素朴な親しみやすい音色を奏でていきたいという中谷さん。人の心を打つ音づくりをめざして修業中だ。



れなかつたけれども。」

魅力的な村づくりに少しでも役立てばという小坂谷さん。「今度は陶芸をやりたいと思っています。みんなて楽しめる合掌造りの陶芸教室です。」

五箇山に対する愛着は人一倍、チャレンジ精神旺盛な小坂谷さん、新しい夢の実現に意欲を燃やしている。

クリエイイ



今後の県の取り組み

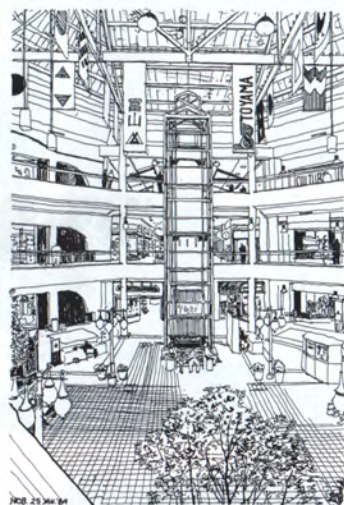
ビジョンの実現は、それぞれの事業者の努力が基本ですが、県としては、事業者の発展を支援します。平成元年度にはとやま商人づくりを目指した「若手後継者塾」を開催し、また、生活を創造する商店街づくりを目指す「生活創造マート計画策定事業」（県版コミュニティマート）、夜の商店街を活性化させる「商店街活性化イベント事業」を支援します。また、各地域での事業の可能性を検討し、実行のためのシナリオを作成する「広域圏商業・サービス業振興行動計画策定事業」を進めています。

「富山県商業・サービス業振興ビジョン」に関するお問い合わせは、経営指導課（内線515）へ

ティブ・マートとやま

「富山県商業・サービス業振興ビジョン」

富山県の商業・サービス業の21世紀を展望し、発展への指針となる「富山県商業・サービス業振興ビジョン」がまとまりました。



21世紀への
創造的県民生活の
実現を目指す

経済の安定成長期に入ってから、人々の生活時間・空間は多様化し、生活様式や生活感も大きく変わりました。それに対応して、商業・サービス業でもファーストフード店やディスカウント店など様々な業種や業態が現われています。また、車社会の定着により、昔からの街の商店街から郊外の沿道へと立地も変わりつつあります。

一方、生業的経営がほとんどで、店舗や商店街の改造が進まないため、多くの消費者が身近な商業やサービス業に不満を抱いていることも事実です。

このような中、これからの商業・サービス業は単に商品を買うというだけでなく、県民の新しいライフスタイルやさまざまなニーズの実現を支援する、先導的な役割を果たすことが必要であるといえます。

とやま商人道の再生

かつての越中売業商人は、先用後利の消費者本位の積極商法で活躍していました。この進取の気性と創意工夫の精神、消費者への貢献の発想をよみがえらせ、新たな事業を展開していくことが必要です。

特に次代を担う若手後継者の養成や経営管理の革新、業種転換など、事業基盤を強化するとともに、消費者本位の発想で商品にまつわる多様な情報・サービスを提供し、21世紀の生活を先取りして、真の消費者王国を建設しなければなりません。

生活を創造する商店街づくり

消費生活は今後、ますます多様化するものと予想されます。この中で新たな消費需要を開拓していくには、経営者が努力するとともに、商店街としても住民が憩い、集うことのできる新しい生活空間や時間を作り出すことが大切になります。

すでに幾つかの街で始まっている暮らしの広場、コミュニティ・マートづくりはその代表的な例ですが、商業機能以外にも安全性や快適性、利便性、情報提供、文化性提供などにぎわいや潤い、ゆとりの演出が必要で

文化・スポーツの拠点づくり

自由時間を自己を高めるために使う人が増えています。特に文化活動やスポーツなどが活発になっており、今後、これらに関連したサービス業の発展が期待されています。

県外からもたくさんの人々を呼ぶことのできる質の高いサービスを提供するとともに、地域の資源を生かした魅力的な拠点づくりが大切です。例えば、優れた自然環境を生かしたアウトドアライフの拠点、伝統工芸を生かしたハンドクラフトの里、和漢薬と西洋医学を生かした健康医療のメッカなどが考えられます。

新産業支援サービスの充実

全国や世界を相手とするサービス業を育成していくためには、これを支援するサービスの展開や基盤の整備が大切です。

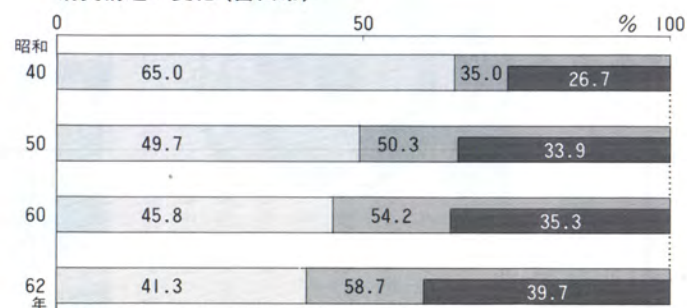
例えば、同業種や異業種間でのネットワークの形成や新しいビジネスを生み育てる機関（インキュベーター）の形成、交通・通信網の整備を進めることが必要です。

商店街類型別機能・施設

機能	近隣型	地区型	地域型	広域型
商業・サービス機能	最寄商店 ミニスーパー	SC、最寄・買回商店 飲食店 共同店舗、大型店 スーパーマーケット	専門店、買回商店 レストラン GMS、共同店舗総合型	百貨店、地下街 専門レストラン街
文化性提供機能	イベントコーナー	小コミュニティホール 児童図書館	コミュニティホール カルチャーセンター イベント広場	小劇場、音楽堂、美術館 博物館、ギャラリー サテライトスタジオ
情報提供機能	掲示板、公衆電話 ポスト	誘導サイン、乗り場案内 起点表示(アーチ) ポスター	公共施設案内板	伝言板、プレイガイド 屋外ステージ、観光案内所 ニューメディア、駐車場案内
快適性機能	灰皿、くず入れ フラワーボックス 植込み、ベンチ	アーケード カラ舗装	アーケード 小公園、モール化 街路樹	買物公園、小川、池 彫刻、モニュメント
利便性機能	駐車場、水飲み 自動販売機	駐車場、公衆便所 バス乗り場	催事用小広場 ロッカー タクシー乗り場 バイクパーキング	子供預り場、催事用広場 ショッピングカート
安全性機能	街路灯、歩道	交通標識 ガードポール	消雪装置	歩道橋、歩行者天国 身障者レーン

*より広い商圏の類型には、より狭い商圏の類型の内容をある程度含む。

消費構造の変化(富山市)



出典：家計調査年報(全世帯)

見・み・み、体験・は・は、 県政バスター教室

五月から県政バス教室が始まります。森林浴あり、実習あり、イベントあり、今年もいろいろなコースをそろえました。じっくり選んで、しっかり見て、存分に体験してください。そして、意見や要望をお聞かせください。おひとりでも、グループや団体でも参加できます。夏休みには親子でどうぞ。

応募は、往復はがきで

〈団体〉

□ (住所) 殿

氏名 (人数)

TEL

代表者 氏名、住所、TEL

参加人数

コース及び運行日

第1希望

第2希望

〈個人・グループ〉

□ (住所) 殿

氏名 (人数)

TEL

コース及び運行日

第1希望

第2希望

申し込み期間(消印有効)

五月 運行分 四月 三日～四月 四日

六月 四月 二五日～五月 八日

七月 五月 二五日～六月 六日

八月 六月 一六日～六月 二八日

九月 六月 二三日～七月 六日

十月 七月 二五日～八月 五日

十一月 八月 二五日～九月 五日

十二月 〃 〃

申し込み・お問い合わせは

企画県民部広報課
富山市新総曲輪一七富山県庁内
TEL(0764)313131

高岡地方県民相談室
高岡市赤祖父二一高岡総合庁舎内
TEL(0766)219411

魚津地方県民相談室
魚津市新宿一〇一七魚津総合庁舎内
TEL(0765)241531

砺波地方県民相談室
砺波市幸町一七砺波総合庁舎内
TEL(0763)331515

※交通安全ことぶきコースは、六十歳以上の方、親子バスは、小学校四～六年生の親子が対象です。
※参加費は無料ですが、入館料等の実費は参加者負担となります。

富山地区 (富山市、上新川郡、婦負郡にお住まいの方)

バ/コース	運行日	見学コース
A	% % % %	総合体育センター(ミニスポーツセミナー)～山村特産指導所(昼食)～桂樹舎・和紙文庫～県庁～内山邸
B	% % % %	情報教育センター(パソコン実習)～事業研究所～太閤山ランド(昼食)～NHK～県庁～近代美術館
C	% % % %	ウッドリウム(木工実習)～瑞龍寺～高岡地域地場産業センター(昼食)～工業技術センター～福岡製菓池
D	% % % %	高志ハビリ病院・授産ホーム～水産試験場～黒部職業能力開発センター(昼食)(県民技能教室)～黒部市吉田科学館(プラネタリウム)(%のみ～行田公園(島浦))
E	% % % %	(衛生研究所)～エリガガーデン %のみ とやまトレードフェア(テクノホール)～庄川町水記念公園(昼食)～城端曳山会館(民謡実習)～善徳寺
F	% % % %	(利賀合掌文化村)～利賀少年自然の家(昼食)%のみ 富山県植樹祭(利賀村)～郷土玩具美術館～農業試験場
森	%	(山道徒歩1時間30分) 福野町安居の森(昼食)～エリガガーデン
林	%	(山道徒歩1時間30分) 朝日町城山駐車場～あさひ国民休養地(昼食)～鹿島神社～百河豚美術館
浴	%	(上記雨天の場合) 衛生研究所～エリガガーデン～庄川町水記念公園(昼食)～城端曳山会館(見学のみ)～善徳寺
ふ福れあ	%	視覚障害者福祉センター～富山県ボランティア大会(昼食)(シンポジウム参加教育文化会館)～特別養護老人ホーム太陽苑(ボランティア体験)～総合体育センター(見学のみ)
テクノ	%	富山新港臨海工業用地～富山新港展望台～工芸都市高岡クラブコンベンション(高岡文化ホール)～工業技術センター中央研究所(昼食)～高岡短大～エリガガーデン
キ特産	% %	富山市中心卸売市場～野菜花き試験場～エリガガーデン(昼食)～小矢部市園芸農家(宮山敷夫(鉢物)%遠藤一嗣(バラ))～戸出鶏卵流通センター
交通安全	% %	交通安全博物館・同自転車コース～勝興寺宝物館～二上青少年の家(昼食)～エリガガーデン～井波彫刻伝統産業会館
文化	%	司の清水(高岡市)～中江の雲水(平村)～瓜裂清水(庄川町)～庄川町水記念公園(昼食)～宮島岬(小矢部市)
親いき	% % %	利賀合掌文化村～脇谷子子のホー庄川町水記念公園(昼食)～井波彫刻伝統産業会館・瑞泉寺・うるおいのある町づくり～串田新遺跡(大門町)～埋蔵文化財センター
水ふれあ	%	情報教育センター(パソコン実習)～エリガガーデン(昼食)～日本自動車博物館～小矢部メルヘンの街
健康	%	下水処理場(宇奈月)～水力発電所(音沢)～水生生物調査(黒部川)(昼食)～杉沢(入善町)～生地の共同洗い場(黒部市)
健康	%	富山保健所(施設概要・業務説明)～立山山麓家族旅行村(昼食)(オリエンテーリング、 Gondolaリフト)～健康増進センター(健康・体力チェック)
健康	%	情報教育センター(パソコン実習)～県民福祉公園太閤山ランド(昼食)～特別養護老人ホーム射水万葉苑(ボランティア体験)～総合体育センター(見学のみ)

高岡地区 (高岡市、新湊市、水見市、射水郡、福岡町にお住まいの方)

バ/コース	運行日	見学コース
A	% % % %	緑化センター～総合体育センター(昼食)(ミニスポーツセミナー)～富山能楽堂～NHK～県庁～警察資料展示室
B	% % % %	安川発電所(農業用水発電)～ウッドリウム(木工実習)～いこいの村富山(昼食)～自然博物館センター(ねいの里)～(県庁～金岡邸%は金岡邸のみ)
C	% % % %	情報教育センター(パソコン実習)～立山少年自然の家(昼食)～立山風土記の丘～広賢堂
D	% % % %	山村特産指導所～八尾曳山展示館(民謡実習)～猪谷関所館(昼食)～畜産試験場(ミニ動物園)～太陽苑(特別養護老人ホーム)%のみ富山県デザイン展(県民会館)
E	% % % %	公害センター～富山職業能力開発センター(県民技能教室)～黒部青少年の家(昼食)～不動堂遺跡・百河豚美術館
F	% % % %	五箇和紙組合～若潮家～ささら館(昼食)～光徳寺～マーシ園～エリガガーデン
森	%	大沢野町寺家公園(昼食)(山道徒歩1時間30分)～緑化センター(園芸教室)
林	%	有峰記念館～有峰ふるさと自然公園(昼食)(山道徒歩1時間30分)～有峰ピクニックセンター
浴	%	(上記雨天の場合) 山村特産指導所～八尾曳山展示館(見学のみ)～桂樹舎・和紙文庫～猪谷関所館(昼食)～畜産試験場(ミニ動物園)～太陽苑(特別養護老人ホーム)
ふ福れあ	%	高齢者総合相談センター～富山県ボランティア大会(昼食)(シンポジウム参加教育文化会館)～健康増進センター(ガン検診啓発)～特別養護老人ホーム射水万葉苑(ボランティア体験)
テクノ	%	職業能力開発カレッジ(見学のみ)～技術交流センター(昼食)～大中国展・遼寧省物産展(テクノホール)～八尾中核工業団地～八尾曳山展示館(見学のみ)
キ特産	%	池多西瓜選果場～肉用牛改良増殖センター～郷土文化保存伝習館(昼食)(宮野山公園)～果樹試験場～公社営栽培漁業センター
交通安全	% %	交通安全博物館・同自転車コース～越中瀬戸焼～黒部青少年の家(昼食)～不動堂遺跡・百河豚美術館
め名くり	%	杉沢(入善町)～生地の共同洗い場、名水公園(黒部市)～黒部コミュニティーセンター(昼食)～穴の谷の雲水(上市町)
文化	%	桜谷古墳(高岡市)～埋蔵文化財センター～近代美術館～立山風土記の丘・雄山神社・宿坊(昼食)～立山寺(上市町)
親いき	% % %	総合体育センター(ミニスポーツセミナー)～魚津水族館(昼食)～黒部市吉田科学館(プラネタリウム)
水ふれあ	%	下水処理場(宇奈月)～水力発電所(音沢)～水生生物調査(黒部川)(昼食)～杉沢(入善町)～生地の共同洗い場(黒部市)
健康	%	富山保健所(施設概要・業務説明)～太閤山ランド(昼食)(トリムコース等)～健康増進センター(健康・体力チェック)
健康	%	高岡保健所(施設概要・業務説明)～立山山麓家族旅行村(昼食)(オリエンテーリング、 Gondolaリフト)～健康増進センター(健康・体力チェック)

魚津地区 (魚津市、黒部市、滑川市、下新川郡、中新川郡にお住まいの方)

バ/コース	運行日	見学コース
A	% % % %	情報教育センター(パソコン実習)～呉羽ハイツ(昼食)～富山市民俗民芸村～県庁～交通安全博物館
B	% % % %	富山火力発電所～総合体育センター(昼食)(ミニスポーツセミナー)～近代美術館～県庁～NHK
C	% % % %	小矢部メルヘンの街～日本自動車博物館～エリガガーデン(昼食)～ウッドリウム(木工実習)～太閤山ランド
D	% % % %	内山邸～公文書館～いこいの村富山(昼食)～自然博物館センター(ねいの里)～八尾曳山展示館(民謡実習)
E	% % % %	野菜花き試験場～アーツスペース～庄川町水記念公園(昼食)～% 棟方志功記念館「愛染苑」% 刀利ダム～棟方志功記念館「愛染苑」% 刀利ダム～福野菊まつり
F	% % % %	二上浄化センター～工業技術センター中央研究所～福野職業能力開発センター(昼食)(県民技能教室)～井波彫刻伝統産業会館～瑞泉寺
森	%	(山道徒歩1時間30分) 有峰記念館～有峰ふるさと自然公園(昼食)～有峰ピクニックセンター
林	%	(上記雨天の場合) 野菜花き試験場～アーツスペース～庄川町水記念公園(昼食)～刀利ダム～棟方志功記念館「愛染苑」
ふ福れあ	%	高齢者総合相談センター～視覚障害者福祉センター～総合体育センター(昼食)(見学のみ)～特別養護老人ホーム 敬寿苑(ボランティア体験)～高志ハビリ病院・授産ホーム
テクノ	%	野菜花き試験場～エリガガーデン～工業技術センター中央研究所(昼食)～事業研究所～大中国展・遼寧省物産展(テクノホール)
キ特産	%	農業試験場・食品研究所～北陸電力呉羽試験農場(昼食)～呉羽梨第1選果場～経済連携米所
交通安全	%	交通安全博物館・同自転車コース～勝興寺宝物館～二上青少年の家(昼食)～エリガガーデン～井波彫刻伝統産業会館
文化	%	魚津歴史民俗資料館～浮田家～富山能楽堂～埋蔵文化財センター(昼食)～瑞龍寺～高岡市美術館
親いき	% % %	情報教育センター(パソコン実習)～いこいの村富山(昼食)～自然博物館センター(ねいの里)～交通安全博物館
水ふれあ	%	マリモ(立山町)～浄水場(流杉)～常西合口用水～水生生物調査(常願寺川)(昼食)～下水処理場(大山町)～水力発電所(有峰第三) ※黒部市役所前でのみ乗車できます。
健康	%	下水処理場(高岡市)～浄水場(和田川)～水生生物調査(庄川)(昼食)～水力発電所(小牧)～アシツキ(弓の清水)
健康	%	富山保健所(施設概要・業務説明)～太閤山ランド(昼食)(トリムコース等)～健康増進センター(健康・体力チェック)

砺波地区 (砺波市、小矢部市、東砺波郡、福光町にお住まいの方)

バ/コース	運行日	見学コース
A	% % % %	近代美術館～総合体育センター(昼食)(ミニスポーツセミナー)～富山市民俗民芸村～県庁～消費生活センター
B	% % % %	木材試験場～ウッドリウム(木工実習)～太閤山ランド(昼食)～ますの舟工場(源)～健康増進センター(見学のみ)～県庁～教育記念館
C	% % % %	情報教育センター(パソコン実習)～いこいの村富山(昼食)～自然博物館センター(ねいの里)～埋蔵文化財センター～金岡邸
D	% % % %	食品研究所～常西用水(やすらぎある農村施設整備)～立山山麓家族旅行村(「花きり」昼食) Gondolaリフト～立山ひょうたん(絵付実習)
E	% % % %	(富山新港展望台～神楽橋・かぐら通り %のみインターデザインセンター(高岡文化ホール)～二上浄化センター(昼食)～栽培漁業センター～光久寺(茶庭)
F	% % % %	黒部職業能力開発センター(県民技能教室)～百河豚美術館～入善町フラワーセンター(昼食)～黒部市吉田科学館(プラネタリウム)
森	%	(山道徒歩1時間30分) 朝日町城山駐車場～あさひ国民休養地(昼食)～鹿島神社～百河豚美術館
林	%	(上記雨天の場合) 黒部職業能力開発センター(見学のみ)～百河豚美術館～入善町フラワーセンター(昼食)～黒部市吉田科学館(プラネタリウム)
ふ福れあ	%	県社会福祉協議会・高齢者総合相談センター～総合体育センター(昼食)(軽体操・レクリエーション)～健康増進センター(ガン検診啓発)～特別養護老人ホーム射水万葉苑(ボランティア体験)
テクノ	%	職業能力開発カレッジ(見学のみ)～技術交流センター(昼食)～とやまテクノフェア(テクノホール)～八尾中核工業団地～薬事研究所
キ特産	%	山村特産指導所～北陸電力呉羽試験農場(昼食)～新湊魚市場～稲場山牧場～戸出鶏卵流通センター
交通安全	%	交通安全博物館・同自転車コース～越中瀬戸焼～黒部青少年の家(昼食)～不動堂遺跡・百河豚美術館
文化	%	不動堂遺跡・百河豚美術館～黒部市吉田科学館(昼食)～魚津歴史民俗資料館～立山寺(上市町)～埋蔵文化財センター
親いき	% % %	ウッドリウム(木工実習)～立山山麓家族旅行村(「花きり」昼食) Gondolaリフト～立山風土記の丘
水ふれあ	%	下水処理場(大山町)～水力発電所(有峰第三)～水生生物調査(常願寺川)(昼食)～浄水場(流杉)～常西合口用水～マリモ(立山町)
健康	%	高岡保健所(施設概要・業務説明)～太閤山ランド(昼食)(トリムコース等)～健康増進センター(健康・体力チェック)



富山県民生涯学習カレッジ
講座案内
5~8月分

講座名	テーマ	開催日	曜日	時間	回数	定員	会場		
一般コース	春季講座	5月20日 5月27日 6月3日	土	14:00 ~15:30 19:30 ~21:00	各3	人各500	氷見市文化センター 入善町民会館 コスモホール		
	晩天講座	7月10日 ~7月15日	月 ~土	6:30 ~8:00	6	200	県民会館 304号室		
	夏季講座	7月24日 ~7月28日	月 ~金	18:00 ~19:30	5	700	高岡文化ホール		
		7月31日 ~8月4日	月 ~金	18:00 ~19:30	5	700	教育文化会館		
創造性開発講座	明日を拓く 創造性を求めて	8月21日 8月22日 8月23日 8月24日	月 ~木	18:00 ~19:30	4	700	教育文化会館		
講座名	テーマ	開催日	曜日	時間	回数	定員	会場	ねらい・内容	
専門コース	人間探究講座	哲学と人間	5月~7月	日	10:00 ~12:00	10	40	県民カレッジ	人間と世界に対する根源的な知を探究し、個別の諸科学を越えた視点から新しい価値を発見する。
	リーダー養成講座	長寿と医学	5月~7月	月	10:00 ~12:00	10	40	高岡文化ホール	高齢化が進み、医学の進歩が目覚ましい中で、健康保持に対する意識や関心を一層高める。
		現代生活と法律	7月~9月	木	14:00 ~16:00	10	40	高岡文化ホール	複雑多岐にわたる現代の社会で、人間の営みを円滑に進めるために法律が果たす役割について理解を深める。
		こころの古典	5月~7月	火	10:00 ~12:00	10	40	県民カレッジ	洋の東西を問わず、時代の変遷に耐えて受けつがれてきた古典を読み深めるなかで、先人の知恵に学び人生の真実を探る。
ボランティア養成講座	とやまの自然再発見	5月~7月	土	14:00 ~16:00	10	40	高岡文化ホール	私たちを取り囲むとやまの自然の中で、つい見過ごしているもの、世界的に価値あるものを広い視野からとらえなおす。	
	とやまの宗教的風土	5月~7月	木	14:00 ~16:00	10	40	県民カレッジ	県民性の根底にある宗教的なものに視点をあて、その根源を歴史的に探究する。	
余暇文化講座	未定	7月	未定	未定	1	20	未定	講師を囲んで話を聞き、直接討論することにより、うるおいとゆとりある学習をする。	

●ほかに、高校開放講座、教養講座もあります。
●9月以降も、テレビ放送講座などたくさんの講座を用意しています。
詳しくは「講座募集要項」などをごらんください。

問い合わせは 富山県民生涯学習カレッジへ
富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内 ☎0764-41-8635(代表)

県民参加型イベントシナリオ
コンペティション

募集

「富山県」を舞台に、「富山県民」を役者にしたイベントのシナリオを募集します。県内のいろいろな素材を生かしながら、たくさんの方が参加できるようなイベントを考えて下さい。

●受付期間/七月一日~九月八日(消印有効)

●賞/特選一点 賞状と賞金三百万円
入選三点 賞状と賞金五十万円

◎提出、問い合わせ先/県庁企画調整室内
「富山県コンパス計画事務局」

(☎0764・41・2100)



情報教育センターパソコン教室



★ワープロコース
毎月第二週の火曜日~木曜日
★グラフィックコース
毎月第四週の火曜日~木曜日
●時間/午前九時~十二時半
●場所/富山県情報教育センター
(小杉町黒河)
※詳しくは☎0766・56・7161へ

富山県「国際児童年」
十周年記念フォーラム

日時/四月二十一日(金)午後一時~四時
場所/教育文化会館大ホール
内容/講演・映画上映・フォーラム
「世界の子どもの日本」とも
「子どもの遊びを考える」

講師/大村璋子(IPA世界遊び場協
会日本支部代表)
※詳しくは、県庁児童家庭課(内線4
20)へ

高岡文化ホール音楽友の会
第十二回コンサート

岡田博美
リサイタル

日時/五月十五日(月)午後七時
会場/高岡文化ホール
入場料/一般三千円、学生二千円、
友の会会員は招待

近代日本画巨匠が描く歴史画名作展

歴史上の人物や出来事を描いた歴史画は、明治時代に入って数多く制作されるようになりました。横山大観、下村観山ら巨匠たちの珠玉の名作六十点を展示し、近代日本画壇に一時代を築いた歴史画の全容を紹介します。



●会期/四月十四日~五月七日
●会場/富山県民会館美術館
●入場料/一般九百円、高・大生六百元、
小・中生四百円
※詳しくは、県民会館
(☎0764・32・3111)へ

募集

ねいの里行事

〔赤祖父の春をたずねる〕

- 日時／四月十六日(日)午前九時～午後二時(小雨決行)
- 場所／井口村赤祖父(フクジュソウ、カタクリの花の群生地、ブナ原生林を歩き、野鳥を観察)
- 集合／午前九時までにいこいの村駐車場へ
- 申し込み締切／四月十四日

〔愛鳥週間探鳥会〕

- 日時／五月十四日(日)午前八時～十一時
- 場所／ねいの里フィールド
- 集合場所／自然博物館センター前
- 申し込み締切／五月十三日

- 対象／小学生以上、家族づれ歓迎
- 費用／資料代として百円
- 申し込み、問い合わせは、自然博物館ねいの里(☎0764・69・5252)へ

日本の都市公園100選

あなたの生活に密着し、誇りとして
いる都市公園を推せんしてください。

- 対象／国内の都市公園
- 応募方法／官製ハガキに公園名、所在地を書いて
- 応募先／〒102 東京都千代田区平河町2-4-16 日本公園緑地協会内「日本の都市公園100選」事務局
- 締め切り／四月末
- 応募者の中から抽選で五百名に「国際花と緑の博覧会」の入場券を贈呈
- ※詳しくは、県庁都市計画課(内線6588)へ

県政物価バス教室

- 食料品や日用品がどのように生産され、流通しているかをあなたの目で見てください。
- 運行期間／六月～十月(主に水曜日)
 - 見学施設／卸売市場、園芸組合、食品加工・製造工場、日用品製造工場など
 - ※詳しくは、県庁県民生活課(内線756)へ

富山県民会館学園教室

週1回 料理、華道、茶道、謡曲仕舞、大正琴、ペン習字、初級英会話、洋画、日本画、デッサン、水彩画教室。

短期講座

一日講座 パソコン(4・5月)、マルチプラン(9月)、菓子(5・12月)、懐石料理(6・11月)

民謡誦実習(7月)、テーブルマナー(10月)、薬膳料理(9月)、フランス料理(10月)

※詳しくは、県民会館5階学園事務室(☎0764・32・3115)へ

愛称募集!

立山自然保護センター

立山室堂平で立山の魅力を紹介している立山自然保護センターが、七月に展示内容を一新します。そこで、自然保護の拠点としてのイメージを印象づけ、皆に親しまれ愛されるようなニックネームを募集します。

- 応募点数／一人三点以内
- 応募方法／官製ハガキ一枚に一点(制作意図も書いてください)
- 応募期間／四月五日～二十日(消印)

★研修・レクリエーションにどうぞ……
国民宿舎 富山県立山荘

立山弥陀ヶ原にある立山荘が、四月二十五日に開荘します。立山の大自然の中で、研修、レクリエーションなどにご利用ください。

- 鉄筋コンクリート四階建
- 百五十人宿泊可能
- ▼予約は☎0764・42・3535へ



▼有効) 応募・問い合わせは、県庁自然保護課(内線790)へ

春の防犯運動

お出かけは

ひと声かけて
カギかけて

外出の多くなる行楽シーズンは、留守をねらった空き巣や自動車盗難などが発生しやすくなります。
▼出かけるときは、しっかりと戸締まりし、隣近所に留守をお願いしましょう。
▼車を離れるときは、わずかの時間でもエンジンキーを抜き、ドアをロックしましょう。



平成元年5月街頭献血

日	曜	場 所	時 間
1	月	富山駅前	10:00~16:00
		高岡駅前	10:00~15:30
③	水	砺波市チューリップフェア会場	10:00~15:30
⑤	金	大山町大川寺遊園地前	10:00~15:30
6	土	高岡駅前	10:00~15:30
7	日	小杉町「パスコ」ショッピングセンター前	10:00~15:30
8	月	朝日町職工会館前	10:00~15:30
13	土	富山西武前	10:00~16:00
14	日	富山西武前	10:00~16:00
15	月	婦中町役場前	10:00~15:30
16	火	滑川市役所前	10:00~15:30
19	金	小矢部市役所前	10:00~15:30
20	土	砺波市ジャスコ砺波店前	10:00~15:30
		魚津市サンプラザ前	10:00~15:30
21	日	富山市中央通り(さんぼ〜ろ)	10:00~16:00
22	月	平村下梨丸山荘前	9:30~12:00
		平村診療所前	13:00~16:00
27	土	高岡駅前	10:00~15:30
		富山駅前	10:00~16:00
28	日	高岡駅前	10:00~15:30

県政の動き

2月11日~3月10日

- 2月14日 第55回国民体育大会準備委員会第1回常任委員会
- 2月15日 県営ため池等整備事業野方地区完工式
- 2月17日 商業サービス業振興ビジョン策定委員会
- 2月19日 第44回国民体育大会冬季大会スキー競技会結団社行式
- 2月19日 消費者スクール閉講式
- 2月19日 '89 Gondola Snow Festival



- 2月20日 教育委員会制度発足40周年記念式
- 2月21日 シグマサブセンター構想策定委員会
- 2月23日 富山県水産試験場研究発表会
- 2月25日 富山県コロンブス計画シンポジウム



- 2月27日 昭和63年度富山県農業振興賞表彰式
- 2月28日 2月定例県議会(～3月23日)



- 2月28日 県営ほ場整備事業相木地区竣工式
- 3月1日 とやまうるおいシンポジウム



- 3月9日 一級技能士全国技能競技大会富山県選手団壮行会
- 3月10日 花と緑の講演会

表2 エッセイ「世界の人達に学ぶ」

P1	難波恒雄
P1	ひとアズとやま 岩城信嘉
P2	平成元年度予算
P12	地域医療計画
P14	PIN UP TOYAMA
P16	桜匂う 松浦義一
P16	TRIP県政
P18	埋蔵文化財センター
P18	ふるさととある記 上平村
P20	商業サービス業振興ビジョン
P22	おしらせ
	県政バス教室
	県民カレッジなど



みなさんの相談窓口

県政については	消費生活については	交通事故については
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民電話) 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎(0766)21-9411(代) 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎(0765)24-5311(代) 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎(0763)33-5151(代)	消費生活センター 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内 (一般相談は) ☎(0764)32-9233 (金融相談は) ☎(0764)33-3252 消費生活センター高岡支所 高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777	富山県交通事故相談所 県庁2階 ☎(0764)31-4111内759 相談110番 家庭問題・悪質商法・覚せい剤など、どんな相談にも応じます。 ☎(0764)42-0110 シルバー110番 高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター 富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内 ☎(0764)41-4110



見てください・聞いてください、県からのホットニュース

60 TV

テレビ広報

- 北日本放送 毎週日曜日 AM8:00~8:30
こんには「富山県です」
4/23 生活に様々な影響がノ～消費税導入～
4/30 ゴールデンウィーク～各地の様々なイベント～
5/7 あなたの身近なうるおい環境
5/14 あなたの県民カレッジ 利用していますか
5/21 花の名所をたずねて
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30
「110万人のひろば～クイズ/フォーカス・イン」

RADIO

ラジオ広報

- FMとやま
「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月～金曜日 AM9:30~9:35

NEWS PAPER

新聞広報

- 北日本、富山、読売、北陸中日
毎月第2土曜日
「県からのお知らせ」
毎月最終土曜日
「みんなの県政」
- 朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

とやま心象 ⑫

「富山の建築百選」をみる

手仕事の館・八尾和紙文庫 移築された「風景」

一足早い春の日差しが、漆喰壁の白さを際立たせている。どことなく小振りな感じがするの、八尾・大長谷小学校の「分校」を移築したからであろうか。

「私はね、コンクリの家には住めん人間なんですわ。木はいいもんですわ」

この「八尾和紙文庫」を建築した吉田桂介氏(桂樹舎)が紙すきの仕事を始めた頃の八尾は、生糸、カイコ種、和紙が一大産業の職人の町であった。そして春の日差しが感じられる頃、家々から天日干しされている色とりどりの和紙が、山あいの里を「色彩浄土」と化したと言われている。

「美しかったですよ。紙干し風景は言葉では言えん美しさだね。それにあの頃の町は建物もよかったですね」

ため息まじりの吉田氏の話は尽きることがない。確かに現在のような「混乱」した街なみではなく、秩序とでも言うような美しさを漂わせる風景があったことであろう。そんな風景に春の日差しが差し込むと、赤、白、黄、紺と様々な色の和紙が家々に干されるのだ。いったい、何と引き替えに「風景」を失ったのであろうか。

吉田氏が和紙文庫以外にも仕事場や自宅を移築建築で造り続けてきた理由は、八尾の原風景(色彩浄土)と無縁ではない。伝統的民家建築が朽ちていくさまに誰一人として憂いを感じなかった高度経済成長の頃、彼は建築という形を通して失われていくものを直感していた。

「もったいないでしょう。立派ながやちあ。みんな捨ててきたがやねえ。よく見れば、美しいがやけどねえ」

吉田氏がこのような「美」を発見できたのは、柳宗悦らの民芸運動に参加し、親しく美の求道者らと交友があったからであろう。民芸という土地(風土)に根ざした美の世界との邂逅こそ彼を原風景から離さなかった原点なのかもしれない。

今、彼のそんな夢を受け継いでいる人々がいる。「手仕事の会」という職人の集いである。大工、左官、建具、経師、指物など、十数名の仲間がそれぞれの職域で美を語る。美を競う。美を愛する。そして、みんなが集まれば建築ができるのである。

八尾の町には点々として美が復活し始めている。まだまだ「点」ではあるが、いずれ面的な広がりが見られることであろう。建築(点)とは、こうして造られていくものである。その集合体が街なみと言われる風景なのだ。

「八尾和紙文庫」もその「点」の一つである。吉田氏が観たという浄土を、もう一度見たいという風景を、願わずにはいられない。



写真…風間耕司
文…岡田順一

編集後記

★彫刻家の岩城さんは、固い信念の持ち主。どんな話にも芯が一本通っています。芸術・政治・産業・遊び……二時間いろいろな話を聞かせてもらいました。たくさんのお話を聞けるのはいいことですが、逆に考えれば、本題にしぼれなかつたといえます。未熟な私はまだまだ勉強することが多い!!(M)

★絶好の好天に恵まれた上平村の取材。今年は暖冬で雪もほとんどなく春の訪れもいつもより早そう。山のところどころに残っている雪、キラキラ光る庄川の水面、道沿いにちよつと顔出すフキノトウ——山里の春、一足先に見つけた一日でした。(H)



ローマ発 大型銅版画への挑戦



サム・フランシス「無題1」1987年(エッチング、アクアチント・88×93cm)

「絵画の巨大化」という第2次世界大戦後の美術の動向を反映して、多くの作家は、より大きな版画をと願っていました。それに応えたのがローマの2R.C版画工房です。この工房の大型プレス機や技術のおかげで、一辺が1メートルをゆうに超す巨大な版画を、芸術家は制作することができました。本展では、この工房で制作された現代作家の大型銅版画を展覧し、〈現代美術の中の版画〉の新しい展開を紹介します。

会期/1989年4月8日～5月21日

富山県立近代美術館平成元年度企画展

〔前田常作展〕5月27日～7月16日

〔第4回現代芸術祭—映像の今日〕7月22日～8月27日

〔'89公募：日本海美術展〕9月9日～10月22日

〔高山辰雄展〕10月28日～12月17日

〔わたしたちの壁画'90〕12月24日～1月28日

〔'90富山の美術〕2月3日～3月4日